

～スローガン～

真摯な行動

# 響

～テーマ～

～経営力を磨く～

H I B I K I

第43号 2017. 8月

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会

会長 三輪龍介

編集責任者：高塚康治 第43期総務・広報委員会

# 雄飛



鳥取県西部中小企業青年中央会  
第43期会長 三輪 龍介

(株)アイクス コンサルティング事業本部長  
S48年8月生まれ  
(中央会活動経歴)  
H22年度 入会  
H24年度 副委員長／H26年度 委員長  
H27年度 副会長／H28年度 監事

T.S.C.  
第43期スローガン

真摯な行動

# 響

～経営力を磨く～

H I B I K I

2017

鳥取県西部中小企業青年中央会

## ご挨拶

鳥取県西部中小企業青年中央会 第43期会長を務めさせて頂きます三輪龍介と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

7月の平成29年度通常総会懇親会では、大変お忙しい中、ご来賓の皆様、多数のOBの皆様にご出席頂きまして誠にありがとうございました。

第43期はスローガンを「響<sup>ひびき</sup>～真摯な行動～」と掲げ、テーマを「経営力を磨く」と致しました。このスローガンを掲げるにあたり、あらためて当会の存在意義、目的について考えました。会員一人一人の当会への思いや求めることはそれぞれだと思いますが、当会の会則第1条に「本会は…(中略)中小企業の振興発展に寄与することを目的とする」と謳われています。ここに立ち返れば、当会は会員所属企業の発展に寄与しなければならないと考えます。

そして私達会員は皆、所属企業において指導的立場にあり、所属企業の発展に寄与すべき立場の人間です。そのような立場の私達にとって、当会で学ぶことが出来る大きなもの一つに「リーダーシップ」があります。当会はこの「リーダーシップ」を実践し、リーダーとしての決断・言動・所作などを学び、トレーニングすることが出来る場です。しかしそのような場であり続けるためには一人一人の真摯な行動が

求められると考えます。

真摯な行動によって人からの信を得て、リーダーとして相手の心に響かせる行動が出来る人間であると同時に、相手の思いを受けとめることが出来る、打てば響く人間であって欲しい、そして当会が、お互いに響き響かせ合う人間の集まりであって欲しいという思いを込め、スローガンを「響～真摯な行動～」と致しました。

また、諸先輩方が築いてこられた当会の歴史を継承していくためには、会員所属企業各々がビジネスという戦場を勝ち残らなければなりません。そのためには自分の経験にのみ頼るのではなく、先人達の知恵や経験を集めた「経営に必要な知識・スキル」も学び、それらを自身の武器として経営する力をつけることが今後益々必要となります。そして会員全員で切磋琢磨して経営する力を磨いていくことで、所属企業の継続・発展に貢献し、ひいては当会の発展、地域への貢献に繋がっていくことを目指して、テーマを「経営力を磨く」と致しました。

この西部青年中央会という縁で出会った会員同士が一緒に活動できたことを誇りに思えるよう、そしてご家族や所属企業からも当会の会員で良かったと思って頂けるよう全力で務めて参りますので1年間よろしくお願い申し上げます。

## 副会長・専務理事ごあいさつ



### 地域交流委員会担当

副会長 秋里武信

水道屋あきさと 代表

H21年度 入会/H24年度 副委員長/H25年度 委員長/H26年度 専務理事/H27年度 県出向理事/H28年度 副会長

第42期に引き続き、副会長を務めます秋里武信でございます。

第43期の担当は、地域交流委員会。今年5月に開催されました、お地蔵さまフェスティバルの担当委員会です。

天候にも恵まれ、大成功に終わった第2回お地蔵さまフェスティバルを参考に、今後も継続可能な事業にしてほしいという三輪会長の想いを受け、堀尾委員長、仲佐副委員長を中心に来年の5月に向け委員会がスタートしました。委員会メンバーにも恵まれ第1回委員会から活発な意見が飛び出し、想像するだけでも楽しいイベントになりそう予感がいたします。・・・が、その反面、意見が活発過ぎて四役会から役員会に運ぶ際、どのように説明して、どのように具現化していくのかプレッシャーも感じております。

しかし、それがこの一年、自分に課せられた使命なのだと心に刻み、地域に愛され、会員に愛される『お地蔵さまフェスティバル』の為、精一杯サポートさせていただきます。

一年間、どうぞよろしくお願ひいたします。



### 人財・組織活性委員会担当

副会長 松井淳一

有渡部 専務取締役

H24年度 入会/H26年度 副委員長/H27年度 委員長/H28年度 県出向理事

43期副会長を拝命致しました松井淳一です。42期では県出向という立場で、中央会の東・中・西を繋ぐ役割をさせて頂きました。今期は、副会長という立場で三輪会長を支えながら西部の会全体運営にも深く関わっていきたくと思います。

今までは、委員会内だけあるいは東中西の繋ぎ部分だけを見ていれば良かった立場から、ちょっとずつ会全体にも目を向けていく役割を頂けるようになりました。このような機会を頂けるのは大変有難く、視野を拡げ、器を拡げ、自己の成長に繋がると確信しております。

また、担当する人財・組織活性委員会の永井委員長がうまく委員会運営をできるよう全力を尽くしてまいります。今年度も何卒宜しくお願ひ致します。



### 生産性向上委員会担当

副会長 山口尚文

山進運輸㈱ 代表取締役社長

H23年度 入会/H26年度 委員長/H27年度 副会長/H28年度 県出向監事

第43期副会長を務めさせていただきます山口尚文です。1年間よろしくお願ひします。

担当となりました生産性向上委員会は、今後のビジネスにおいて決して避けて通る事の出来ない生産性向上というテーマに取り組みます。皆様、ご存じの通り生産性向上とは、とても広範囲に渡るテーマです。当委員会の西田委員長・武田副委員長を中心とする委員会メンバーが、生産性向上のどの分野にスポットを当て、どのように会員に伝えていくのか楽しみにしています。

副会長の役割を全うできるよう頑張って参りますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。



### 政治行政委員会担当

副会長 福山輝展

日産プリンス鳥取販売㈱ 米子店営業課 課長

H22年度 入会/H26年度 委員長/H27年度 会計担当理事/H28年度 専務理事 兼 会計担当理事

第43期副会長を拝命しました福山輝展と申します。橋本委員長が率いる政治行政委員会を担当させていただきます。

三輪会長から与えられたテーマを基に橋本委員長が作り上げていく委員会をしっかりサポートしていきたくと思います。自分の考える副会長像は委員会全体を見ながら、委員長の目指す委員会活動ができるように答えを伝えるのではなく、答えに繋がるヒントを伝えて導いていける人間だと思っております。

まだまだ力不足な面がありますが、委員長の気づかない点、考えないといけないポイントをしっかり伝えられるように自分も学びながら副会長としての役目をしっかりと果たせるように努めていく所存です。何卒よろしくお願ひ申し上げます。



### 総務・広報委員会担当

副会長 高塚康治

株式会社オートメーション 常務取締役

H19年度 入会/H26年度 副委員長/H28年度 委員長

第43期副会長を拝命いたしました高塚康治と申します。担当は木嶋委員長率いる総務・広報委員会です。今期は第36期以

来、総務と広報がひとつになった委員会となり、中央会のまさに屋台骨となる委員会の担当となりました。そして早速、担当いたしました総会懇親会では本当に多数のOB会員の皆様にご臨席賜りました。ありがとうございます。会員数減少が叫ばれるなか、今期の総務・広報委員会の役割は非常に重要であると考えられています。43期を支え、また今後のひとつの道筋になる集団になれるよう、木嶋委員長、渡邊副委員長、恵比木副委員長をサポートしながら、一年間走り続けたいと思っておりますので、皆様よろしくお願ひいたします。



### 専務理事兼会計担当理事

副会長 奥森秀夫

新和産業㈱ 工務部統括部長

H23年度 入会/H25年度 副委員長/H26年度 県出向理事/H27年度 委員長/H28年度 副会長

第43期三輪会長より専務理事兼会計担当理事を拝命致しました奥森秀夫と申します。三輪会長が掲げるスローガン「響

～真摯な行動～」を会員の皆様に浸透させ実践していただくことを目標に私自身、叩くと響く人間になりたいと考えております。今期の配属委員会はございませんが会員拡大プロジェクトの担当でございます。会にとって非常に大切な会員拡大、こちらも精一杯務め、お声かけいただければすぐに参上いたしますので宜しくお願ひいたします。

専務理事として会長と会員の皆様の思い、言葉が響き合えるようにしっかりと役目を務めてまいりますので一年間皆様からのご指導宜しくお願ひいたします。

# 委員長・理事ごあいさつ



## 地域交流委員会

委員長 堀尾一仁

株堀尾建築設計事務所 専務取締役  
H26年度 入会/H28年度 副委員長

### 強震美響

第43期地域交流委員会の委員長を務めさせていただきます堀尾一仁です。

地域交流委員会は、テーマを『おのれを強く震わせ、共に美しく響き合おう!』という想いで「強震美響(ごうしんびきょう)」いたしました。各企業を代表する会員それぞれが、その個性に溢れ有能な能力を奮い立たせ、おのれを震わせ、そして共に響きあい、協奏曲のように強く・美しく奏でられたらと考えます。

当委員会は会全体として活動していく継続事業【お地藏様プロジェクト】を担う委員会です。会員それぞれを震わせ、そして共に一つになって活動できるような企画・運営を委員会メンバーと共に創り上げていこうと思っておりますので1年間どうぞよろしくお願いいたします。



## 人財・組織活性委員会

委員長 永井拓未

株クラム 営業部長  
H22年度 入会/H26年度 副委員長

### 人と組織には世界と未来を変えるちからがある。

第43期人財・組織活性委員会の委員長を拝命いたしました永井拓未です。

委員会のテーマを『人と組織には世界と未来を変えるちからがある。』とさせていただきます。すべてのメンバーが自己のベストをめざし、一人ひとりが互いを認め合い、そして未来につながっていく、そんなポジティブな委員会にしたいと思います。

近年人工知能の発達が著しく、これからの社会は激変していくと思えます。今こそ優れたビジョンを掲げ、心と心を通わせるコミュニケーション能力をもったリーダーが必要です。

リーダーシップなど組織力の強化、組織の活性化につながる知識・スキル・手法を学びそして実践できるように活動していきます。一年間よろしくお願い致します。



## 生産性向上委員会

委員長 西田裕志

山陰酸素工業株 営業本部 技術部 供給技術グループ メディカルチーム 課長  
H26年度 入会/H28年度 副委員長

### 共成～共に成長 共に成功～

第43期生産性向上委員会の委員長を拝命致しました西田裕志と申します。

鳥取県の労働生産性は年々低下傾向にあり、慢性化する人手不足や働き方改革などの向上への重点的な取組みが求められ、今までと同じような経営感覚では、事業継続も危うくなる時が訪れ、今こそ企業の在り方を見直す時に来ていると考えます。

そこで当委員会の委員会テーマを「共成～共に成長 共に成功～」とし、生産性向上についての知識習得を行い、関心や危機感を持って中小企業で今問題となっている課題を洗い出し、いかにして対策を講じるか検討し実行し「結果」を出すところまでこだわっていきます。この活動が皆さんの企業において継続的な取組みとなるきっかけとなり、自社の発展、西部青年中央会の発展、地域の発展に繋がることを信じて活動いたします。皆さん、1年間よろしくお願い致します。



## 政治行政委員会

委員長 橋本真和

美保テクノス株 基礎技術事業所長  
H25年度 入会

### 「堅守速攻経営を学ぶ」～リスク管理で経営を変える～

第43期政治行政委員会では、テーマを「堅守速攻経営を学ぶ」～リスク管理で経営を変える～と致しました。三輪会長からの方針発表の中で、経営に必要な知識・スキルを学び、これらを武器にしてこれまで以上に経営力を身につける必要があると言われております。この武器は攻めるものだけでなく、守る武器もあります。堅い守りがあって、素早い攻撃が可能となり、企業は成長していくと考えます。昨今、中小企業には様々な社会的課題を抱えていますが、その中でも特に労働に関する諸問題について、必要なりスクマネジメントを学び、委員会メンバーはもちろん、会員の皆様にも役立つ活動をしていきたいと思っています。一年間、よろしくお願い致します。



## 総務・広報委員会

委員長 木嶋康之

株D・I・P  
H23年度 入会/H25年度副委員長/H27年度 県出向

### 「MOTTO」～未来への一步～

この度、第43期総務・広報委員会委員長を拝命しました木嶋康之です。

今期の総務・広報委員会のテーマは「MOTTO」～未来への一步～というテーマで活動していきます。

総務・広報と二つの事業を行うにあたり、もっと中央会のことを知り、もっと中央会が好きに、またもっと本気にならなければならないと考え、このテーマのもと一年間活動して参ります。

ハンサム、新年例会など皆様に待ち遠しく思ってもらえるものを作り上げ委員会メンバー各自が1年後「今よりもっと～」だったと思える活動をしていきます。

皆様には原稿依頼や取材などお世話になることがあると思いますが、その際はどうぞよろしくお願い致します。



## 会員拡大プロジェクト

会員拡大担当理事 山内正樹

株サンユースビルド 専務取締役  
H26年度 入会/H27年度 副委員長/H28年度 会員拡大プロジェクトリーダー

昨年度に引き続き会員拡大プロジェクトのリーダーを務めさせていただきます。今期スタート時の会員数は89名です。先輩方が築いてこられた中央会の活動を継承していくには、やはり100名以上の会員数が必要だと考えます。今年度以降の卒会予定者は7名、10名、17名となり、会員拡大は重要な課題となりました。昨年度の活動の反省も踏まえ、地道に汗をかき、足を使った活動を行っていききたいと思います。

また今期のプロジェクトメンバーは委員長を中心に構成されていますので、会員数を増やすとともに会員数を「減らさない」ことにも目を向け、各事業の雰囲気を作りたいと思っています。

皆様には色々相談を持ち掛けることもあるかと思いますが、何卒ご協力の程、よろしくお願い致します。

## 平成29年度通常総会 『翔人』から『響』へ



平成29年 7月13日(木)、米子全日空ホテルにて平成29年度通常総会が開催された。

冒頭の第42期竹ノ内会長の挨拶では「42期も終わり、43期という新たなページが開くめでたい日だ。43期も全員で力強く前進していき、響き響かせあう会でありたいので全力でバックアップしていきたい。また慎重に審議を行い43期にしっかりとバトンを渡したい。そして皆様1年間ありがとうございました」と感謝を述べて最後の会長挨拶を終えた。

続いて新入会員バッジ授与式が行われ、岡田英憲会員が青年中央会の新たな一員となった。

通常総会開催のため第42期浜田副会長が議長に選任され、第1号議案【平成28年度事業報告、ならびに収支決算承認の件】は第42期福山専務理事より説明があり、満場一致で承認された。第2号議案【平成29年度事業計画、ならびに収支予算書(案)】

については第43期奥森専務理事より説明があり、こちらも満場一致で承認された。

続いて特別功労賞の授与があり、第40期会長を務められた後藤太良会員、第41期県会長を務められた牧田継夫会員に感謝状と記念品が贈られた。また会員表彰では皆



勤賞30名、精勤賞27名の表彰があった。

最後に委員会表彰があり、会長特別表彰には女性活躍社会の実現に向けて委員会活動を行った翔女委員会が受賞し、優秀委員会には、大山お地藏さまフェスティバル



を成功させた積善委員会が受賞した。最優秀委員会はテーマを「本気～はじめての一步」と掲げ総会



懇親会や新年例会などを開催した総務委員会が受賞し、第42期高塚総務委員長より「総務委員会の事業は会員の皆様の力がなければ成り立たない事業でした。本当にありがとうございました」と1年間の本気の想いを伝え委員会表彰を締めくくった。これにより平成29年度通常総会は幕を閉じた。

(記事:渡邊)

### 卒会式 『笑顔あふれた卒会式。晴ればれと9名が卒業』

通常総会に続いて卒会式が行われた。この日、後藤太良会員、牧田継夫会員、小椋崇永会員、白石博昭会員、千石正信会員、



佐々木尚会員、角田昭生会員、宮田昇会員、山崎慎也会員の9名が晴れて卒会となり第42期竹ノ内会長より卒会者へ卒会証書と記念品が授与された。祝辞として竹ノ内会長より「卒会される9名の先輩がそれぞれ存在感を発揮して活躍される姿を見てきた。今日この日の華々しい姿は若い後輩たちの憧れです。我々も皆さんを目指して頑張って活動していきたい。長い間ありがとうございました」との言葉が贈られた。卒会者代表挨拶として小椋会員より現役



会員へ「中央会の活動について一人ひとりがしっかりと感じ、考えてほしい。そして行動すれば必ず結果はついてくる。これからの皆さんの発展を心よりお祈りしています」とのメッセージが贈られた。寂しさの中にも笑顔あふれた晴れやかな卒会式となった。

(記事:小谷)

### 懇親会 『来賓・OB多数の中、三輪会長所信表明』

総会・卒会式に続いて、多数の来賓、OB会員を迎えて懇親会が開催された。懇親会では来賓、OB会員、現役会員が入り混じって挨拶や談笑する和やかな雰囲気の中、第43期三輪龍介会長の所信表明をはじめ新役員・卒会者の紹介、皆生トライアスロン壮行会等の様々催しが行われた。

冒頭、三輪会長より今期のスローガン『響』～真摯な行動～』テーマ『経営力を磨く』について発表があり「会員同士が切磋琢磨し、響き響かせあうことのできる人間になることを目指す」と会長としての決意を述べた。

来賓代表として舞立昇治 参議院議員より「中央会の皆様へは皆生トライアスロン



ほか多くの地域貢献への感謝を申し上げる。地方は益々厳しい時代。何としても地方創生をさせる。若い力を貸していただきたい。」と挨拶があり、続いて土井一朗OB会長より、第42期竹ノ内会長を労った後『響』とはよいスローガンだと思ふ。皆さん、益々結束を高めてほしい」との挨拶の言葉があった。そして中山貴雄 鳥取県西部総合事務所所長の乾杯の発声で賑やかに懇親会は始まった。

新役員・卒会者の紹介の後、西部青年中央会の事務局として長年尽力され6月末をもって退職された足



立真治氏を労う場が設けられ、現役・OB会員を代表して土井OB会長より感謝の言葉と花束が贈呈された。

皆生トライアスロン壮行会では檀上の出場者へ向けて、応援団の掛け声とともに会場全体よりエールが送られた。こちらも恒例となっている新入会員アトラクションでは、12名の新入会員が両手に扇子を持って『響きの舞』を披露。澁刺とした演技で三輪会長を鼓舞し新年度の成功を願った。



そして盛況の中、伊木隆司 米子市長の中締め挨拶をもって懇親会は閉会。そして第43期西部青年中央会の幕が切って落とされた。

(記事:小谷)



## 鳥取県中小企業青年中央会 第43回通常総会

平成29年7月25日(火)、ホテルニューオータニ鳥取に於いて鳥取県中小企業青年中央会 第43期通常総会が開催された。



まず、第43期牧井県会長が「事業は一人では出来ない。運営する側、参加する側、応援する側の3つがあって盛り上がりて行く。1年間皆様とともに取り組んでいきたい」との挨拶で総会は始まった。

続いて議長に選出された第42期井上県副会長のもと、通常総会議案書の通り議事は進行した。第1号議案(平成28年度事業報告並びに収支決算書承認の件)、第2号議案(任期満了に伴う新役員指名承認の件)、第3号議案(平成29年度事業計画(案)並びに収支予算書(案)承認の件)と、全ての議案が満場一致で承認された。

最後に、松岡直前県会長挨拶では、1年間の感謝の言葉と共に「新しい年度も東部中部西部1つになって、ともに考え、動き、実践する。一致団結して県の事業をその都度完成していけば、これから先も楽しい県の場になると思う」と述べられ平成29年度通常総会は閉会した。

通常総会終了後、会場を隣室に移し来賓の方々もお迎えしての懇親会が盛大に開催された。

初めに県会長の鍵の引渡式が行われ、松岡直前県会長より鍵を引き継いだ牧井県会長の開会挨拶では、今年度のテーマについて「道をひらく」～人は志と仲間で成長、革新する！～環境

の変化に対して志を持って新しい道を切り開いていく意思を持つことが大切と考えこのテーマを掲げた。①自己成長への学び②自社企業の成長③縁を活かす。この3つを皆様と同じ志で体験し、成長、革新していきたい。先輩方の熱い想いを引き継いで活動することで中央会も飛躍する」と力強く述べられた。

また、来賓の方々からは、平井知事、団体中央会 谷口会長よりご祝辞を頂いた。続いて谷口会長より第42期県会長並びに各地区の県副会長へ、1年間の労いの言葉と共に、盾の贈呈が行われた。

そして、羽場鳥取副市長による乾杯のご発声で懇親会が始まった。

地区間の親睦を深める中、新県出向理事紹介、各地区29年度の抱負及び理事紹介が行われた。また会の終盤にはアトラクションとして真傘坊 豪ノ虎(しんさんぼう ごうのとら)によるオリジナル曲を含む4曲のしゃんしゃん傘踊りが披露され会場は大いに盛り上がりを見せた。

迫力ある演舞の興奮冷めやらぬ中、株式会社商工組合中央金庫鳥取支店 坂下支店長より中締めのご挨拶を頂き、三本締めで盛会のうちに閉会した。

(記事:戸田)



# 第37回 全日本トライアスロン皆生大会

全日本トライアスロン

今年も暑い季節がやってきた。平成29年7月16日(日)、「第37回全日本トライアスロン皆生大会」が開催された。

朝のスタート時こそ曇りであったものの、次第に晴れ渡り、中には35℃の最高気温も記録した過酷な環境の下、個人923人・リレー60組の鉄人達がスイム3km、バイク140km、マラソン42.195kmの日本屈指の難コースに挑んだ。

当会からはteam「帰ってきたやんばい」として後藤(公)OB、福庭OB、社会員、team「TSC西部組」として土岐OB、拝藤OB、

白石OB、秋里会員、team「大山の中心で愛をさけぶ」として上村会員、内田(和)会員が出場した。リタイヤも続出するレース展開の中、3チームとも見事に完走を果たした。

スタート前には、恒例となった新入会員応援団による壮行会が行われ、出場選手に熱いエールを送るとともに、会員同士の結束を高めた。中央会の団結力が各所でいかに発揮された大会となり、成功裏に終了した。

(記事:小坂)



## 完走お疲れ様でした! トライアスロン参加選手感想

### 上村卓弘会員 (ダイニチ技研(株) 代表取締役)



私たちは「大山の中心で愛を叫ぶ」というチームにて、内田和也会員ほか2名と共に出場しました。実は不摂生と練習不足のため申し込みをかなり悩みましたが、今回初めて出場してとても貴重な経験ができました。

エイドステーションに着くまではひたすら苦行です。ラン担当の私は30℃を超える暑さの下で足がつる中、延々と耐えて走りました。それでもASに着いてボランティアから氷水をかけてもらおうと不思議といけちゃうんです。特に中央会メンバー主体のオアシスASでは、とてもリフレッシュできました。

日没前に完走53チーム中30位の記録でゴールしましたが、それ以上の達成感を得ました。「皆生トライアスロン愛してます!!」

### 白石博昭新OB (しらいし設計室 代表)



リレー3回(バイク、ラン、スイム)→個人2回で、今年原点に戻りバイクパートでリレーの部に出場させて頂きました。結果、自己ベストのバイクタイム。40歳の時の自分に40分勝ちました。トライアスロンは相手ではなく自分との闘いだと思っています。でも正直、今年の練習量は全然ダメでした。本番だけでなく練習も含めてトライアスロンです。自分に甘い私をトライアスロンは律してくれます。「お前そげなんでいいのか?」と。

先月おこがましいとは思いましたが、現役にリレーでの出場者を指名しました。それをきっかけに「お前が出るならわしが出る!」的な議論が起こればと期待しています。もちろん選考に通って初めて出場できるわけですが、現役の皆さん是非チャレンジしてみてください。見えてくる世界変わるよ。土岐さん、拝藤さん、武信ありがとうございました!

### 福庭貴志OB (有タイヤ館米子 取締役社長)



現役会員の皆さん、大会までの準備や炎天下のボランティア活動大変お疲れさまでした。選手の一員として心より感謝申し上げます。

今大会もバイク担当の後藤(公)さんが繋いだ海水・汗そして力水が染みこんだアンクルバンドを無事ゴールに繋ぐことが出来ました。

皆生らしい灼熱の大会になりましたが、1/3トライアスリートの私達も各種目のゴールまで人生と同じく山あり谷ありです。プラン通りに行かず毎回訪れるピンチに試行錯誤して、レース後は反省点の方が多いですが次回への改善点が見つかります。トライアスロンは自然との戦い、そして人生を感じる事が出来る素晴らしいスポーツです。我々はアラフィフチームになってしまいましたが、現役会員のチームもしくはソロ選手から指導を渡されるまでもうしばらく頑張ろうと思っています。応援ありがとうございました。

# 第37回全日本トライアスロン皆生大会を終えて

実行委員長 瀧田 修 (株)ホクシン 代表取締役社長)



今年も暑く熱く長い一日が終わりました。会員の皆様におかれましては選手やボランティア、それぞれ銘々の立場で大会の日を迎えて過ごされたと思います。大会当日はもとより、ずいぶん前より準備、段取りをされた方もおられ、色々なご苦労もあったと思いますし、とくに各部の部長の方々は大変だったかと思えます。本当にお疲れ様でした。私も一ボランティアとして久々にASでの作業やフィニッシュ付近での作業などを行いました。忙しいなかにもその場の一体感もあって爽快な汗を流すことができました。皆生トライアスロンは選手のみならず、我々ボランティアとしても非常に充実感に満ちた大会であり、選手とボランティアが勇気と励ましと感動を分かち合える、つまり、選手からも周りのボランティアからもパワーをもらえる素晴らしい大会だと思うのですが、これはやはり、皆様のご尽力と団結力があってこそだと思います。ぜひ、また来年も全員で大会を盛り上げていきましょう。ありがとうございました。



## AS部長 橋本真和

(美保テクノス(株) 基礎技術事業所長)



今大会でAS部長を務めさせて頂きました橋本です。大会当日はもちろん、事前の準備から片付けまで本当に多くの皆様に助けられ、無事に何事もなく終わらせることが出来ました。当日は、例年に比べ非常に蒸し暑く、ボランティアに参加された方々は大変だったと思いますが、最後まで一生懸命頑張って頂き、本当に感謝しております。今年、初めての部長をさせて頂きましたが、部長になって初めて気づく事、分かった事も多々ありました。これらの事をしっかりと次の世代に引き継いでいくことも、AS部長をさせて頂いた役目であると思っています。最後になりますが、ボランティアに関わられた皆様、本当にお疲れ様でした。そして、ありがとうございました。

（美保テクノス(株) 基礎技術事業所長）

## マラソン部長 高塚康治

(株)富士オートメーション 常務取締役)



マラソン部長の高塚です。すべての会員の皆さま、どうもありがとうございました。今年のマラソン部も、やるべきにはやる、楽しむときにはとことん楽しむ、の精神で活動して参りました。今年もたくさん腹抱えて笑いました。何よりも、大きな事故もなく無事に大会を終えることができたことに安堵しております。長砂倉庫も年々綺麗になっており、最後の仕上げまで手を抜かない中央会の姿勢を感じるところです。そしてご卒会されました四名の皆さまにも、大変お世話になりました。どうぞありがとうございました。どんな人が入り替わっていきますが、しっかりマラソン部の魂を伝承していきたいと思えます。二年にわたりご協力いただきまして、ありがとうございました！

（株）富士オートメーション 常務取締役）

## ボランティア部長 角田昭生(新OB)

(東亜ソフトウェア(株) マネージャー)



昨年に引き続きのボランティア部長でした。4月からの長丁場でしたが、ボランティア部の皆様には時間を共有していただき本当に有難うございました。

今年は、ボランティアの参加が少ないという問題に悩みました。仕事の都合上の理由(退会者含)等で人員不足になり、準備期間には個々の負担が大きくなってしまいました。大会当日の人手不足も心配していたのですが、OBの皆様が自ら手を挙げて参加して下さい、支え合う事ができ円滑に無事終える事が出来たと思います。

私自身ですが、出来が悪かった点が数々あり、すみませんでした。しかし、先ず自分が心の底から向かい合おうとし、やったつもりです。多数の皆様からの温かい反響が、とても嬉しかったです。

最後に、マラソン部、AS部の皆様にも大変お世話になりました。御礼を申し上げます。

## トライアスロン事前準備

### 団体ボランティア説明会

平成29年7月6日に皆生観光センターにて団体ボランティア説明会が開催されました。各部の部長から大会についての注意点などの説明があり、その後エイドステーションごとに分かれ団体の責任者に対してマラソン部・ボランティア部の部員が説明を行いました。

(記事:渡邊)



### 備品洗い・マラソンコースの看板立て

平成29年7月1日、第43期三輪年度の初日にトライアスロン皆生大会の備品洗いがあり、翌週の8日にはマラソンコースの看板立てがありました。両日ともに大変暑く、大会本番まであと僅かという実感がわきました。

(記事:高田)

### Kaike Triathlon

## 新入会員が見たトライアスロン

### volunteer

#### 安達信彦 (㈱平設計 設計課長)



皆生トライアスロン大会は、これまで建築士会としてA Sのボランティアに当日のみ参加してきましたが、今年はボランティア部として地元企業へのボランティア協力をお願い、説明会の準備や看板立て・備品洗いなど多くの活動に参加しました。今までは気づけなかったのですが、看板や備品一つとっても、多くの

人たちの協力の中で成り立っており、その中の一員としてのやりがいを感じました。当日は、パトロールに始まり、児童相談所給水所の運営に携わりました。コース最後の給水所として、『おかえりなさい』と言える場所で、最後の気力を振り絞る選手たちを見て、今までとまた違った感動を得ました。次回大会では今年以上に貢献できるように活動していきたいと思ひます。

#### 青戸和功 (㈱WAZM 代表取締役)



人生初の皆生トライアスロンボランティア。灼熱の431号線、私達のいたエイドステーションは選手にとって一瞬の休息地です。ボランティアの中に地元の小学生・中学生が多数参加していました。子供達は、じりじりとした炎天下の中、選手の体温調整に必要な水かけ、うだるような蒸し暑いテント内で選手への食料や水分補給を行っています。少しでも癒してあげたい、次の一歩の力になりたい、子供達は選手の為に汗を流していました。地元中学生グループとの会話の中で「もっと長く、まだボランティアしたいです!」とキラキラとした表情で私に言ってきたあの子達の顔が忘れられません。トライアスロンへの見方が変わった一日でした。



#### 安藤睦男 (山陰フェンス工業㈱)



今回、中央会の一員として初めて皆生トライアスロンに参加させて頂きました。当日はスタート前の選手にエールを送り出発を見送りました。スタートを初めて見ましたが、早朝から選手、ボランティアの方々が準備をされており、会場には一体感が生まれ、とても感動しました。

今回はA S部員として活動しました。ステーションでは右も左も分からない状態でしたが、先輩方の動きを見ながら活動をし、とても充実した一日でした。

個人的にも初めてのボランティア活動でしたが、今回の活動を活かし仕事、中央会活動に励んでいきたいと思ひます。

### 8月役員会報告

平成29年8月1日(火) 米子市公会堂 第1集会室にて8月役員会が開催されました。議題は以下のとおりです。

- ・総会、卒会式、懇親会開催報告の件
  - ・8月例会開催の件
  - ・9月例会開催の件
  - ・その他
- ※なお、詳細については各委員長までご確認ください。

### 8月例会案内

と き:平成29年8月18日(金) 19:00~21:00

と ころ:皆生温泉 東光園

内 容:納涼例会

(第37回トライアスロン皆生大会事業の慰労並びに親睦会)

担 当:第43期 副会長・会員拡大プロジェクト

### 編集後記

今回初めて雄飛の作成に携わり、毎月発行することの大変さがよくわかりました。改めて委員会メンバー、他委員会の方々に感謝いたします。

毎月色々な事が時間との戦いになりますが、総務・広報委員会一同で会員の為になるものを作り上げていきますので、1年間よろしくお願ひします。

(総務・広報委員会 委員長 木嶋康之)